

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501636
法人名	新居浜医療生活協同組合
事業所名	グループホームあおぞら
所在地	愛媛県新居浜市南小松原町 8 - 6 8
自己評価作成日	平成22年12月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年12月20日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

一人ひとりが自分のペースで安心して穏やかな暮らしが送れる様に環境を整備し、季節ののびのびや行事をスタッフと協同で創意工夫して行っている。家族との関係を大切に、面会時間等は設定していない。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

介護計画は、3カ月ごとに見直しをされており、利用者・ご家族に今後の生活やケアへの希望や意見等をうかがいながら話し合っておられる。ご家族の参加が難しい場合は、来訪時や電話で聞き取るようにされている。見直し時には、介護計画の目標に対して「達成・やや達成・未達成」の3段階で評価を行い、又、「職員からみた評価」「利用者本人の評価」「家族の評価」の欄も設け、それらをもとに、より個々のニーズに沿った計画の作成に努めておられる。事業所では、今年1名の利用者の看取りを支援された。最初は入院をされたが、病院で、ご本人が食事がすすまなかったり、血圧を計ることを拒むようなことも見受けられ、ご本人ご家族とも相談して事業所に戻り、終末期を過ごされたようである。職員は「崇高で貴重な体験となった」と話しておられ、看取りを経験されたことで、職員間の連絡体制をさらに整えたり、ご家族の付き添いをお願いすること等、さらなる看取り支援の協力体制作りに取り組みられている。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームあおぞら

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

前谷 満里子

評価完了日

平成22年12月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 介護理念が目につきやすく、職員が意識出来る様な場所に掲示し常に利用者の支援に心掛けている。又家族・地域の人達には聞かれたグループホームの運営を公開している。 (外部評価) 介護理念「私たちは利用者さんと地域活動に参加して地域に開かれたグループホームの運営に取り組みます」等、5項目を、廊下や台所、居間に掲示し、毎月の職員が集まる「運営会」で、理念が実践できているか確認されている。職員は、理念が記された名刺サイズのカードを常に携帯しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 事業所での行事には、ボランティアの人達にも参加して頂き演奏会等、楽しめる。自治会・家族会にも案内させて頂き多くの人達が参加して下さり和やかに利用者との共有の時間を過ごし交流している。 (外部評価) 散歩時、出会う方に声をかけたり、あいさつをされている。又、事業所で作ったおはぎや芋たき、赤飯をご近所におすそ分けされたり、事業所で「ハーモニカ演奏会」を行った際には、地域の方も誘い、利用者やご家族と一緒に歌を歌う等、楽しまれた。民生委員の方にも勧めていただき、事業所では自治会に加入されており、管理者は「今後は、自治会の活動に積極的に参加して関係を作り、事業所のことをさらに知っていただきたい」と話しておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議には認知症についてのテーマを取り入れ地域の人達にも支援のあり方・介護についての第三者の意見を伺う事で事業所の評価・運営につなげられている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 会議には年間でテーマの希望も取り入れ家族交流会又敬老会とイベントを利用させて頂いた後で地域の人達、理髪・大家さん、利用者の家族達にも出席をお願いし事業所より活動報告・利用者の日々の状況・ケアも含め伝えさせて頂きこの場で意見交換を行い運営の向上に役だ立っている。</p> <p>(外部評価) 会議時、事業所の活動報告や防災訓練、救急救命訓練等を実施してられる。又、ご家族や職員から、身体を動かすこと・転倒防止・誤嚥防止等についての知識や技術を習得できるような会議内容への希望があり、採り入れて開催してられる。民生委員の方から、近隣の方とお付き合いについて「気軽な関係作りを心がけてはどうか」とアドバイスをいただいた。</p>	<p>さらに、会議を事業所のサービスの質の向上につなげていくためにも、事業所が実践している日々のケアサービスの実際について、意見をいただけるような取り組みをすすめてみてはどうだろうか。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 市町村より運営に関しての情報を随時届けて下さる。又光化学スモッグ情報も確実に得られています。月1度介護相談員の訪問もあり行事等にも参加して下さり多彩なアドバイスを頂いています。</p> <p>(外部評価) 地域包括支援センターの担当者や介護相談員の方が運営推進会議に参加してくださっている。又、介護相談員の方は、毎月1回訪問があり、行事時等にも参加してくださっている。市の担当者に利用者の身内の方を探すことに協力していただいたり、ご本人の生活支援について相談しながら取り組まれている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束については外部の人にも分かる様「身体拘束0」のポスターを見やすい場所に掲示している。日中に玄関の鍵をかけず勉強会では言動や態度に気をつけ特に良く言われる「待つて」の言葉を職員間で使わないよう意識する様に心掛けている。</p> <p>(外部評価) 調査訪問時、利用者は、ご自分の意思で廊下を車椅子で動いておられ、ご自分の居室にも出入りされていた。「身体拘束0」のポスターを廊下に掲示して、職員は、利用者「待つて」等の言葉による拘束もしないように気を付けておられる。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待は利用者の尊厳を精神的・身体的に傷つける行為であり、研修やミーティングで話し合っている。介護する職員同志も思いやりを持って虐待を産まない環境を作る努力をしている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 利用者の中に権利擁護の利用を必要としており、学んでいる。外部のケアマネや地域包括支援センターの協力を得て話し合っているが活用に到っておらず学びの機会を多くする必要がある。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、利用者の家族立会いのもと条文の各項にそって説明し、理解が得られたか確認している。解約や改定については双方合議のもと利用者の権利を尊重する。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族会、運営推進会議・介護相談員の導入により利用者・家族との意見交換の場があり又外部評価時の家族のアンケートも開示している。介護相談員さんより得られた情報は地域包括支援センターから送付される意見をとりいれ改善を図っている。 (外部評価) 家族会を年4回実施しておられ、敬老会、もちつき会、忘年会、職員と家族の交流会等も行っておられる。ご家族には運営推進会議の議事録をお渡ししたり、外部評価実施結果を家族毎に全結果を複写して渡しています。ご家族から「利用者個々のノートを作ってほしい」との希望があり、事業所では「思い出ノート」を作成して、ご本人の様子を伝えたり、ご家族コミュニケーション等をより深めてもらうためのノートにしたいと考えておられた。	「思い出ノート」等も用いながら、さらにご家族が知りたい情報を具体的に提供できるような工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1日運営会議を実施・代表者や理事が参加し、意見を一人ひとりが発言の機会を持ち、意見を述べる場がある。質問に対して代表者が出席しており職員全体に答弁してもらえ、運営の方向性が明らかになっている。	
			(外部評価)	
			職員が利用者のおむつを購入しておられたが、職員からの提案もあり、業者から取るようにされた。食堂の椅子には、職員がペットボトルを利用して作った杖立てが取り付けられてあり、又、テニスボールを椅子の足の部分に付けて、椅子を引く時に音がしないように工夫されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			年1回、職員と管理者、代表者との間で自己評価、一次評価、二次評価を実施し、その評価を基に意見を出し給与の改正や勤務環境の改善、職員の資質向上をはかり、意欲がもてるように努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修はローテーションを組み、年次で行う教育、毎月、個人の希望する研修が受けられやすい勤務態勢や研修費の支給制度がある。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			管理者会議、ケアマネジャーの研修会への出席にて交流を図る。グループホーム相互研修活用や各研修会で交流し出合いの場を作り時が役の交流に役立っている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			家族やケアマネからの情報提供を資にして本人の話しを傾聴し、不安や交換を必要としている事を受けとめ、共感、受容し信頼が得られる努める。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>事業所見学に来所された時、家族を交えて、本人の意向や要望を重視し不安を取り除くよう事前の情報の聞き取りを行っている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の方の在宅での生活を尊重し、出来る工夫をさせて頂き馴染んでもらえるようにしています。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の方が信頼し、話し会える関係作りを作りにしています。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の方と家族の方が共に安心して暮らして頂けるお手伝いをしています。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者の方と穏やかにゆっくりとした生活を築いて頂ける環境作りに努めています。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者の高齢化や重度化等に伴い、出かける機会が少なくなったこともあって、ご家族がご本人に会いに来てくださることが増えたようである。昨年、お孫さんの結婚式に出席された利用者は、今年はしゃしゃら孫のお祝いにご家族と出掛けられた。以前、傾聴ボランティアで来てくださっていた方と出会い「また行きます」と約束してくださった。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者の方がお互いに思いやりの気持ちを持ちながら互いの生活や思いを尊重し合えるよう援助をしている。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 利用者の入所時の状態で退所時にはきめ細かく情報提供出来るようにし、退所後も相談に応じるようにしています。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者の思いを最優先とし、家族の意向も大切に、その方らしい生活を送って頂けるよう取組み援助しています。  (外部評価) 自分の意向を言うことが難しいような利用者は、筆談したり態度等を見ながらコミュニケーションを図り、思いや意向の把握に努めておられる。	市のグループホーム連絡会等で知り得たアセスメント表を用いて、利用者の思い等の把握に取り組まれているが、利用者の思いを文章に表したり、まとめること等にも難しさがあるようだ。利用者主体のケアにつながるような情報を集め、介護計画につなげて、利用者個々の生活の拡がりを支援していかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者、家族の話し等の聞き取りを行いながら対応しています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者の日々の暮らしの中で心身共に穏やかな生活を送って頂けるよう努めてます。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者ごとに担当スタッフを配置しており、家族スタッフ本人等とカンファレンスを行いモニタリングをしている、それを基にスタッフ同士で話し合い、意見を用いて介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、3カ月ごとに見直しをされており、利用者・ご家族に今後の生活やケアへの希望や意見等をうかがいながら話し合っておられる。ご家族の参加が難しい場合は、来訪時や電話で聞き取るようにされている。見直し時には、介護計画の目標に対して「達成・やや達成・未達成」の3段階で評価を行い、又、「職員からみた評価」「利用者本人の評価」「家族の評価」の欄も設け、それらをもとに、より個々のニーズに沿った計画の作成に努めておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者ごとに日中帯、夜勤帯との日々の様子等を記録している。又定期的にカンファレンスを行いスタッフ間での情報の共有を密にするように行っている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個別でのリハビリや散歩等に加えて今後は、地域の協力なども得て外出の機会を増やしたり事業所で色々な行事が行える様、スタッフ間で話をしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が同じ時間に同じ事をするのではなく、一人ひとりの特性や能力を活かし、其の都度本人がしたい事をしてもらうようにしている。又穏やかに日々過ごしてもらえる為に各スタッフが色々工夫するよう心がけている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価) 歯科の訪問往診や訪問看護等の協力機関がある。又、約半数以上の利用者は当組合が開所している診療所の医師がかかりつけ医であり、適切な医療が受けられる。</p> <p>(外部評価) 利用者の受診は、ご家族が付き添う場合が多い。協力医の往診が、2週に1回あり、歯科も利用者の必要に応じて往診して下さるようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>看護職とは、日々利用者の情報を観察記録や不在の場合は、電話で連絡を取り合っています。又、夜間帯も常に待機され、其の都度対応が出来る。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者が入院されている時は、所長が定期的にお見舞いに行かれ、又、病院や家族とも連絡を取り合い情報交換を行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 今年度、1名の利用者が当事業所で終末期を迎えられターミナルケアを行いました。所長、家族、スタッフを交え話し合いを行い、訪問往診、訪問看護を利用し、尊厳ある看取りが出来ました。</p> <p>(外部評価) 事業所では、今年1名の利用者の看取りを支援された。最初は入院をされたが、病院で、ご本人が食事がすすまなかったり、血圧を計ることを拒むようなことも見受けられ、ご本人ご家族とも相談して事業所に戻り、終末期を過ごされたようである。職員は「崇高で貴重な体験となった」と話しておられ、看取りを経験されたことで、職員間の連絡体制をさらに整えたり、ご家族の付き添いをお願いすること等、さらなる看取り支援の協力体制作りに取り組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアルに沿って急変時、対応・応急手当が出来る。急変時の搬送先を決めており、夜間の利用者の対応にも看護師が出動し、他の利用者のケアに支障がない様にしている。職員は、消防の救命講座にも積極的に参加している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 1年に2回、避難訓練実施、1回は、消防署職員を招き訓練をしている。スプリンクラー設置、防災設備の定期点検実施、運営推進会議や家族・地域の方との交流会の時、救助の支援を依頼している。	職員は「訓練を何度も繰り返し、体で覚えることが大事」と話しておられ、日頃の訓練の大切さを感じておられた。事業所では今後、災害警報を知らせてくれる防災無線の取り付けや、防災グッズの充実を図りたいと考えておられた。さらなる利用者や職員の安心や安全のために、いざという時、職員が慌てず対応できるよう、具体的な訓練を重ねていかれてほしい。
			(外部評価) 消防署の指導のもと、夜間を想定しての避難訓練を行われたり、救命救急等を習われた。避難訓練には地域の方も参加いただき、消火器の使い方を習ったり、役割分担の確認をされた。訓練を行い管理者は、事業所の居室が2階にあることや利用者の状態等のこともあり「利用者を安全に避難させることの難しさ」を改めて感じられたようである。消防署の方から、いざという時、「職員が自宅からホームに駆け付けるまでの時間を計ってみてはどうか」とアドバイをいただいた。	
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 自分の好きな事を自由に選びゆったりとした時間を過ごしている。時には利用者何人かで歌とかゲームを楽しまれています。排泄・入浴のケアは、一人一人個別に支援している。	
			(外部評価) 管理者は「職員みんなが同じ方向での言葉かけ」ができるよう職員に話しておられる。調査訪問時、職員は、利用者にゆっくりと声をかけておられる様子がうかがえた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) ホームからの季節の外出も個人が自由に決められています、利用者が自分の思いを言葉に出来る雰囲気作りが出来ている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 担当の職員を決め受診・行事等を伝え、確認している。希望があれば、どのスタッフでも対応出来る様支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 理容に関しては、定期的になじみの美容師が来られています。女性の利用者同士で、理髪・洋服等を注意されたり、誉められたりされています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食卓を拭いたり、洗ってもらったり、ごぼうのささがき等下準備をして頂いています。職員もそばにいて、声かけしながら食事を楽しみにしてもらっている様になっています。	
			(外部評価) 献立は、利用者の好みをお聞きしながら職員が立てておられる。調査訪問当日も、利用者からの希望をお聞きして「とりの唐揚げ」を作っておられた。職員も利用者と一緒に座り「おいしいね」と感想を話しながら食事をされていた。食後、食器を洗ってくださる利用者がおられる。利用者の誕生日にはご本人の希望の献立をお聞きして、お寿司や炊き込みご飯や刺身等を手作りしてお祝いされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 生活記録に1日の食事摂取量を記入し、状況に応じて栄養補助食品等を取り入れる工夫をし健康に気をつけている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 歯科往診をお願いし、スタッフも口腔ケアの方法を指導してもらっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 日中は、オムツの使用はなく、布パンツ、尿とりパットといった形で随時トイレ誘導を行っています。夜間については、一人の方がオムツの使用をされていますが、それ以外の方は、尿器の使用、随時のパット交換、ポータブルトイレの使用で対応しています。 (外部評価) 入居前に、オムツを使用していた利用者がおられたが、入居後に様子を見ながら、日中は全利用者、布パンツとパットを使用してトイレで排泄できるよう支援されている。「ご自分でトイレに行きたい」と言われる利用者の気持ちを大切に、ご自分が行きたい時にトイレに行けるよう支援されているが、その後、職員が「流し忘れはないか」「パットの確認」等をさりげなく行うようにされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 便秘されている方に対しては、内服薬での調整、水分や野菜を多く摂って頂いたりと対応し、便意がない時も食後のトイレ誘導を実施したりしています。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 2日に一度の入浴を実施していますが、気持ちよく入浴が出来る様声かけを多くし、リラックスしてもらえるよう気を配り、拒否等がある時は無理いじせず、日程をずらしたりし対応しています。 (外部評価) 利用者が入浴を嫌がるような時には「息子さんが来られるからきれいにしておきましょうか」「今日は病院に行くから」等と声をかけて入浴をすすめておられる。調査訪問時、入浴をすました利用者、管理者は「お風呂どうでしたか。気持ちよかったですか」と感想を聞いておられた。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 午前、午後を問わず、横になりたいと言われる方に対しては、無理に起こしたりせず、過ごしてもらっています。、運動不足や昼夜逆転にならないよう注意し、自由に休んでもらうようにしています。夜間も眠りたい時に休んで頂いています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 必ず処方箋を読み、副作用に注意し、症状の変化等を記録や管理日誌に書き、絶えず確認する。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯たami・食器洗い・料理の下準備(ごぼうのささがき等)をして頂いています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 暖かい天気の良い日は、近くの河川敷を散歩したり、家族が来所時に一緒に外出に行かれたりする方もおられます。	
			(外部評価) 散歩に出かけたり、系列のデイサービスの車を借りて、初詣や季節毎のお花見、系列の施設へ芋ほりに出かけておられる。日用品の買い物の希望があった場合は、職員が付き添って出掛けておられる。事業所では、利用者をご家族とともに過ごす時間を大切に考え、外出はご家族にお願いしたいと考えておられる。ご家族が来られて、近くの河川敷を一緒に散歩されたり、受診の帰りにご家族と外食をして戻る方もいる。	現在、利用者の状態もあり、皆そろっての外出が難しいようである。外出は利用者の楽しみでもあり、ご本人の行きたいところやご家族の希望等を聞きながら、協力者も募り、出かける機会を積極的に作っていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 現在、金銭の自己管理をされている方はいません。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者の希望で、自由に使用出来る。家族の方から手紙や写真を持って来て下さる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共有スペースは、清潔第一を心かけ、適度な室温や照明に気を付けています。壁には季節感が出るように、カレンダー・切り絵・塗り絵を貼っています。長い廊下には歩行訓練や筋力の維持・強化をも考えて、長い手摺をつけており、広い窓からの採光も明るい雰囲気作りに一役買っています。廊下の中央では懐かしのメロディ - が流れています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>廊下が南側に面しており、日当たりが良く暖かいことから「利用者のお気に入りの場所」となっており、個々が椅子に座って日向ぼっこされたり、利用者同士でお話をされている様子や、廊下を歩行練習している様子が見られた。居間には利用者と職員で作ったクリスマスの壁飾りが飾ってあった。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共有室は、大・中・小のテーブルと椅子を配置し、テレビ好きな方は、テレビのそばに、新聞や雑誌好きな方は、そのコーナーに、また、廊下には、ソファーや備え付けの椅子もあり、話し好きな方は、そこに座って話しが出来るようになっています。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>馴染みの物・大切だった物・思い出の品(タンス・テレビ・ラジオ・子供や孫やひ孫の写真やアルバム・人形・電気かみそり・靴・手鏡・小物入れ)等を持ってこられており、一人一人個性的な生活感のある部屋作りになっています。また、各部屋にはクローゼットが備え付けられているため、寝具や衣類の収納に便利です。</p> <p>(外部評価)</p> <p>各居室にエアコンやカーテンは備え付けられており、ベッドやタンス・テレビ等を個々で持ち込んでおられる。冷蔵庫を置き、飲料等を入れ、お好きな時飲まれる方もいる。又、ベッドの枕もとにお孫さんの写真を飾られている利用者もあり、職員は、時々話題にしておられる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>利用者一人一人の理解力等を把握し、分かりやすい言葉遣いの声かけに努め、混乱を生じないように、食事時の椅子の位置は同じ場所に、トイレの使用も決まった場所を利用して頂いています。</p>	